

# 慢性疾患看護専門看護師の キャリアパス

小児の専門性に憧れて小児専門病院に入職、小児慢性疾患の終末期に関わり、終末期ケアに関心を持ち、緩和ケア病棟が立ち上がる当センターに再就職しました。外科病棟で終末期ケアだけでなく、ストーマケア、褥瘡ケアに出会い、気づけば皮膚・排泄ケア認定看護師(以下 WOC)を目指し、産休、育休を経てWOCを取得しました。

専門看護師認定試験の時には病棟勤務を継続していましたが、認定看護師の役割と慢性疾患における外来看護の充実が課題と考え、看護部へ異動しました。下肢慢性創傷をもつ人が外来でも生活できるよう看護外来も実施しています。

現在

専門看護師  
認定

大学院進学

入職

WOCでは下肢慢性創傷に関わり、創傷管理とともに慢性疾患へ関わることの難しさを感じました。また、ストーマ保有者や褥瘡患者に関わる中で慢性疾患看護の視点が必要と考え、大学院へ進学しました。大学院では研究とともに院生との討議を通して経験と知識、理論を統合して考え、実習で実践をすることで多くの学びを得ました。

看護部にはたくさんの認定看護師・専門看護師が所属しています。分野ごとの役割獲得だけでなく、領域を越えて協働できるようがん看護相談や看護部倫理コンサルテーションシステムなどの構築・実践を行っています。また、慢性疾患看護相談を始め入院、外来において慢性疾患をもつ人への実践を行っています。